

生産現場の運営・管理・改善業務に従事する技能者・技術者の方へ。

実践 生産性改善

(ムダの見える化とムダ取り技術) 講座

日時	令和7年 11月 5日(水)～ 6(木)		9:30～16:30 (昼休憩1時間)	
会場	産業人材育成センター倉吉校 (倉吉市福庭町二丁目1番地)			
講師	WILL & WITH(ウィル アンド ウィズ) 代表 石出 利男 (いしで としお) 氏 [講師プロフィール] 元ソニー(株)生産革新センター 生産革新部長 ・ ソニー(株)で生産革新センター 生産革新部長として、トヨタ生産方式をベースとした生産革新活動を指導。 指導した工場はソニー国内全工場と海外工場 (マレーシア、タイ、イギリス、フランス、スペイン、ハンガリー、スロバキア)、 協力メーカー等多数。 コンサルティング会社の講師としても様々な企業の指導に参画し、そのトップダウンとボトムアップの両面から推進させる実践的な 指導方法によって各社から高い評価を得ている。 ・ 2006年に経営コンサルタントとして独立後も、現場改善を中心に経営全般にわたる幅広い知識で企業を指導している。			
目的	製造業を取り巻く環境は、国内はもとより諸外国の影響で、市場の多様化が進み、製品寿命の短命化、製品価格の引き下げ等厳しさを増しています。そのために生産性向上をめざした効率化、適正化、最適化、安全性向上を実現し多品種少量、短納期といった市場の要望に低コストで素早く対応できる生産体制を構築する必要があります。 製造現場を構築する際に、見えない問題を見るための視点と考え方、そして全体最適化を考慮した生産性の高いラインを構築する「ムダ取り技法」について改善演習などを通じて習得します。			
養成する能力	生産性向上を実現できる能力			
締切り	令和7年 10月 2日(木) 15時まで	定員	15名(先着順)	
受講料	9,500円/人 (テキストを含む)			
持ち物	筆記用具			
申込み 手続き	申込みは[とっとり電子申請サービス] (以下のURL) からお願いします。 https://apply.e-tumo.jp/pref-tottori-u/offer/offerList_detail?tempSeq=17686 入力を終了し送信すると受付メールが自動配信されますが、この時点では確定しておりません。 申込を確認し、受付を完了しましたら、申込確定のメールが配信されます。 (定員オーバー等でお受けできない場合もメール連絡されます。) ※後日、ポリテクセンターが発行する請求書等を送付しますので期限内までに入金してください。			

講座概要

- 1 製造業の背景
 - ・ 製造業を取り巻く環境
 - ・ 競争に勝ち抜く成長する企業とは
 - ・ 生産性とは
- 2 生産性向上のための現場運営の視点
 - ・ 全体の最適化 (個々の能率と全体の効率)
 - ・ 管理機能を生産ラインに取り込む
 - ・ 生産ラインに流れを作る
- 3 生産ラインの構築実習
 - ・ ロット生産方式によるライン
 - ・ 流れ生産方式によるライン
 - ・ ラインの評価 (効率と採算性、変更への対応といった観点で)
- 4 生産ラインの評価の視点
 - ・ 工程と作業
 - ・ リードタイムとものづくり方法
 - ・ 設備導入の考え方 (省人化へ向けて/設備導入は最後の手段)
- 5 組立てラインの生産性改善実習
 - ・ 造りすぎのムダ、動作のムダなどを内包させた模擬ラインを用いた組み立てラインの生産性改善実習
隠れた工程の問題の顕在化⇒ 顕在化した工程の問題を解決⇒ 作業の問題の洗い出し
⇒ 目標の生産性を達成するラインの構築⇒ 隠れた工程の... (このループを繰り返す)
収束後: 構築したラインの評価
- 6 まとめ
 - ・ 改善の視点と整理
 - ・ 改善の成果を定着させるために

<産業人材育成センター倉吉校会場案内>

会場: 3階 視聴覚室



《事務局》鳥取県商工労働部雇用人材局産業人材課 担当: 岸、山本
電話 0857-26-7691 / Eメール: sangyoujinzai@pref.tottori.lg.jp